

稲作情報(Vol.1)

令和元年6月7日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

～基本技術の徹底を～

4～5月の気象経過

- ◎ 4月は中旬に低温と降雪が見られ、月平均気温は平年差 -0.6°C とやや低くなりました。5月は気温の高い日が多く、月平均気温は平年差 $+2.0^{\circ}\text{C}$ と高くなりました。
- ◎ 日照時間は、4月は平年比101%と平年並み。5月は平年比154%と多くなりました。
- ◎ 降水量は、4月は定期的に降雨が見られ、平年比98%となりました。5月はまとまった降雨があったこともあり平年比115%と多くなりました。

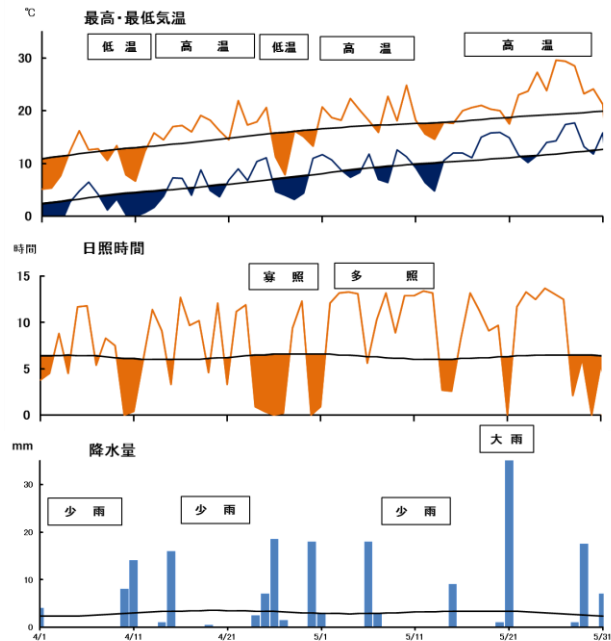


図1 4月以降の気象経過(アメダス石巻)

田植概況

- ◎ 育苗期間中の低温により始期は平年より2日間遅れました。
- ◎ 5月中～下旬に好天が続きましたが、田植盛期は5月11日で平年より2日遅く、終期も1日遅くなりました。また、県全体の田植盛期は、平年並の5月11日でした(表1)。
- ◎ 田植以降、天候が安定していることから、活着は概ね良好です。

表1 田植えの進行状況

項目	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
石巻管内	5月4日	5月11日	5月20日
前年差	2日遅い	同日	同日
平年差	2日遅い	2日遅い	1日遅い
宮城県	5月3日	5月11日	5月22日
前年差	1日遅い	同日	同日
平年差	1日遅い	同日	1日遅い

※管内の平年値は過去5年間の平均値。県全体の平年値は、最大・最小値を除く過去10年間の平均値。

水稻の生育状況(5月31日現在)

～ 草丈はほぼ平年並み、茎数・葉数はやや多い傾向 ～

- ◎ 草丈は、23～26cmで、ほぼ平年並となっています。
- ◎ 茎数は、ほ場によって差はありますが、平年よりも多くなっています。
- ◎ 葉数は、平年と比較してひとめぼれは $+0.1\sim+0.4$ 枚でやや多くなっています。ササニシキは $-0.1\sim+0.3$ 枚と平年並からやや多くなっています。

表2 生育調査ほの調査結果(5月31日現在)

品種	調査ほ場	移植日(月/日)		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)					
		前年差(日)	平年差(日)	前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年差(枚)	平年差(枚)				
ひとめぼれ	石巻市広瀬	5/4	-1	0	26	113	99	151	131	119	6.4	0.1	0.1
	東松島市小松	5/6	+1	+1	23	89	92	229	153	148	6.6	0.3	0.4
	平均	5/5	0	0	24	100	96	190	143	135	6.5	0.2	0.3
ササニシキ	石巻市寺崎	5/10	-2	-3	25	110	116	121	129	121	5.6	-0.2	0.3
	石巻市稲井	5/10	0	+2	23	101	94	96	96	106	5.5	-0.4	-0.1
	平均	5/10	-1	-1	24	106	104	109	112	114	5.6	-0.3	0.1

※平年値は過去5か年平均。移植日の前年差及び平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。

だて正夢と金のいぶきの生育状況

◎5月31日現在の生育調査の結果では、ひとめぼれと比べると、茎数は少なめとなっています。

表3 「だて正夢」及び「金のいぶき」普及展示ほの調査結果(5月31日現在)

調査ほ場	品種名	年次	移植日(月日)	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)
東松島市小松	だて正夢	本年	5/5	29	201	5.9
		前年	5/10	33	101	5.7
石巻市蛇田	金のいぶき	本年	5/11	28	111	5.5
東松島市小松	(参考)本年生育調査ほひとめぼれ		5/6	23	229	6.6



写真1 だて正夢(5月31日)



写真2 金のいぶき(5月31日)

今後の管理(移植栽培)

1 水管理

- ◎ 活着後は、地温が最も高くなる3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。なお、極端な低温が続くと予想される場合には、水深をできるだけ深めにし、イネを低温から保護しましょう。
- ◎ 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、イネに有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。このような場合には、中耕や一時的に落水するなど土壤中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。
- ◎ 除草剤を使用する場合は、使用上の注意事項をよく読み、除草剤ごとに定められた使用時期、使用量及び適切な水管理に努めましょう。

2 いもち病対策 ～ 補植用残苗は直ちに処分を！～

- ◎ 県内で発生する本田いもち病の発生源のほとんどは「補植用残苗」です。補植用残苗は速やかに処分しましょう。
- ◎ 個人防除で葉いもち予防剤などを本田施用する場合は、田植時期の早い遅いにかかわらず6月15～20日頃に施用し、処理後7日間は落水しないようにしましょう。
(※JAいしのまき環境保全米及びS基準では本田でのいもち病予防剤が使用できないので注意)
- ◎ 飼料用米や直播栽培など箱処理剤を使用していないほ場では、周辺ほ場の伝染源にならないよう、いもち病予防剤による防除を行いましょう。



写真3 ほ場の補植用残苗



写真4 補植用残苗の葉いもち

3 害虫対策

- ◎ 今年のイネミズゾウムシの発生量は平年並みで、イネドロオイムシの発生量は少なく、発生時期はどちらもやや早いと予想されています(5月22日 県病虫害防除所発表)。
- ◎ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの防除対策は次のとおりです。
 - <箱施用剤を使用した場合> 本田での防除は必要なし
 - <箱施用剤を使用しなかった場合> 次の「要防除密度」により防除の実施を判断する
(※ JAいしのまき環境保全米及びS基準等では、使用できる農薬に制限があるので、防除を行う場合は、JAに相談願います。)

【要防除密度】

- イネミズゾウムシ : 畦畔際2m程度の成虫密度100株当たり140頭(晩期栽培は70頭)
- イネドロオイムシ : 成虫密度100株当たり25頭または
産卵最盛期の卵塊密度100株あたり80個

東北地方1か月予報

(6月1日から6月30日までの天候見通し)

令和元年5月30日 仙台管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
[気温]	東北地方	10	30	60
[降水量]	東北地方	40	40	20
[日照時間]	東北地方	20	40	40

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	20	30	50
3～4週目	東北地方	20	40	40

<予報の対象期間>

1か月:6/1(土)～6/30(日)

1週目:6/1(土)～6/7(金) 2週目:6/8日(土)～14(金) 3～4週目:6/15(土)～6/28(金)

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守してください。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページ<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html> で確認できます。